

# 中小企業に対する資金繰り支援策について

平成21年3月21日

社団法人 全国信用金庫協会

中小企業の厳しい経営環境を踏まえ、必要に応じて、活力を生むような追加的施策が必要と認識。

## 1. 取引先中小企業の現状等

— 業況悪化から、中小企業は業種・地域に関係なく深刻な状況。

⇒ 中小企業は地域経済の要であり、地域の雇用の主要な担い手。受注や仕事が増えるような政策の立案を。

## 2. 緊急保証制度の拡充

— 信用金庫は、緊急保証制度に積極的に対応し、中小企業の資金繰りを支援(参考資料3)。

⇒ 先行き見通しが立たない現状では、同制度の取扱い期間延長、据え置き期間の拡大等、思い切った追加支援策を。

## 信用金庫業界の規模・業績の概況

—平成20年12月末—

信用金庫数 279金庫

店舗数 7,678店

役職員数 11万6千人

預金量 116兆円

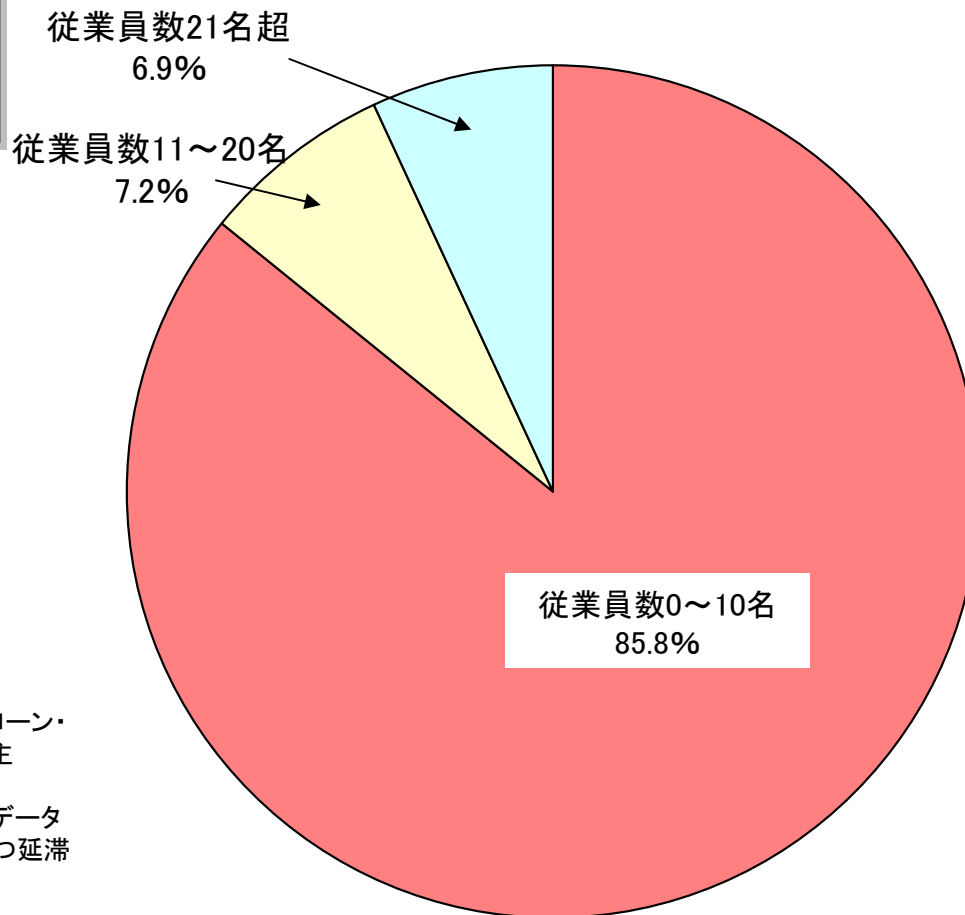
貸出金 64兆円

会員数 930万人

## <参考資料2>信用金庫業界の概要

信用金庫の取引先は、従業員数10人以下の小規模企業層が85%を超えています。

従業員規模別貸出先構成比  
(平成20年3月末現在)



(資料)全信協調べ(有効回答256金庫)

(注)集計対象は、地方公共団体および住宅ローン・消費性ローンのみの先を除く法人・個人事業主(平成20年3月末時点)。

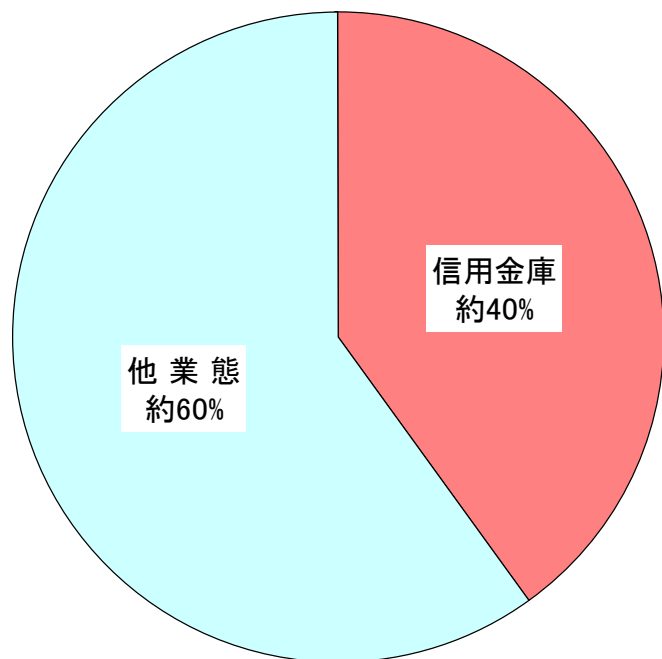
従業員数0～10名には、システム上に従業員データのない先(主として簡易査定先等の小規模かつ延滞のない先)を含む。

# <参考資料3> 中小企業向け貸出の状況

緊急保証制度の効果により、中小企業向け貸出は大幅に増加しています。

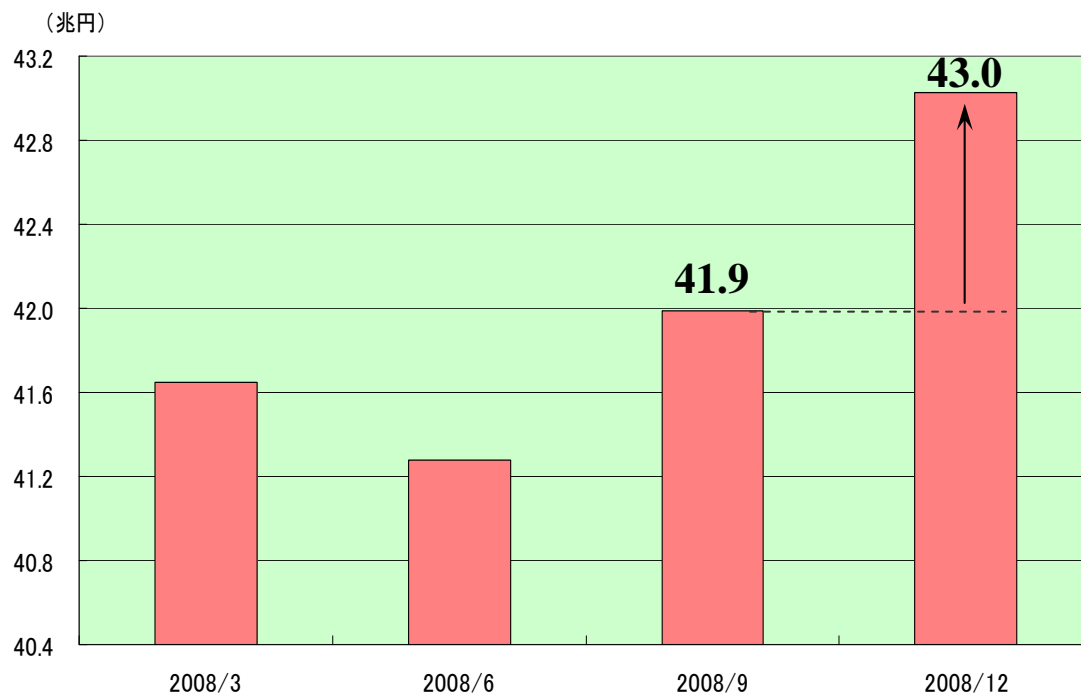
## 緊急保証承諾件数の業態別構成比

(3月上旬現在累計約35万件中)



(資料) 全国信用保証協会連合会公表資料等をもとに、本会にて推計

## 信用金庫の中小企業向け貸出の推移



(資料) 日本銀行ホームページ(四半期毎に集計)